



チエルフィツチュ  
の映像演劇

風景、世界、  
アクシデント、  
すべて  
この部屋の  
外側の出来事

Chelfitsch's Eizo-Theater

The Landscape,  
the World,  
and Accidents:  
Everything That Happens Outside  
of This Room

2020  
3/21 [土]  
▼  
3/29 [日]  
10:00-19:00

会場 = クリエイティブスタジオ [札幌市民交流プラザ 3F]

入場料 = 〈フリーパス〉 一般 500円 / 65歳以上 400円\* / 18歳以下 無料\*

[ご本人様に限り、チケットご提示で会期中の再入場が可能です] \*お名前、生年を確認できるものをお持ちください  
チケット販売 = 2020年2月25日(火) ~ 市民交流プラザチケットセンター窓口 (札幌市民交流プラザ 2F / 10:00 ~ 19:00)

Dates: 2020.3.21 [Sat.] - 2020.3.29 [Sun.] 10:00-19:00 Venue: Creative Studio [Sapporo Community plaza 3F]

Admission: General ¥500, Over 65 ¥400\*, Under 18 Free\* \* ID must be presented upon purchase.

Ticket on sale: 2020.2.25 [Tue.] - Box office: Sapporo Ticket Center (Sapporo Community Plaza 2F / 10:00 - 19:00)

主催 / 札幌文化芸術交流センター SCARTS ・ 札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)、一般社団法人チエルフィツチュ  
協力 / さっぽろ天神山アートスタジオ 助成 / 芸術文化振興基金助成事業



札幌文化芸術交流センター  
SCARTS  
SAPPORO CULTURAL ARTS COMMUNITY CENTER

札幌文化芸術劇場  
hitaru  
SAPPORO CULTURAL ARTS THEATER

チエルフィツチュ

本展は、4本の〈映像演劇〉によって構成される演劇公演／展覧会です。

〈映像演劇〉とは、演劇作家・チェルフィッチュ主宰の岡田利規が、舞台映像デザイナーの山田晋平と取り組む、新しい形式の演劇です。「演劇とは、ある場において行われる上演が生じさせる“現象としてのフィクション”のことだ」と語る岡田は、これまでも演劇の形式自体を問うような作品を多く手掛けてきました。

〈映像演劇〉で上演／展示されるのは、スクリーン等に投影された、等身大の役者の映像です。映像の中で、役者は役を演じていますが、そこには背景も興行きもありません。映像であるからこそ、観客は接近したり凝視したり、通常の「演劇」とは異なる鑑賞の仕方をする事ができます。一方で、厚みのない映像であるにもかかわらず、人間が演じる「演劇」とも違う独特の存在感や生々しさが、そこには発生しています。

観客が映像に触れ、役者の演技と観客の想像力が合わさる時、映像が投影された空間は、演劇の生まれる空間に変わります。〈映像演劇〉を見ることで、観客は、「演劇」として発生するフィクションと、「映像」であることで発生するフィクションという、2つの領域を同時に経験することになるのです。

# チェルフィッチュ

岡田利規が全作品の脚本と演出を務める演劇カンパニーとして1997年に設立。独特な言葉と身体の関係性を用いた手法が評価され現代を代表する演劇カンパニーとして国内外で高い注目を集める。2007年「三月の5日間」にて国外進出を果たして以来、世界70都市での上演歴を持つ。近年は海外のフェスティバルによる委託作品制作の機会も多く活動の幅をさらにひろげている。

## Chelfitsch

この限界を、小さな部屋の中にいるようなものと喩えることは可能だとわたしは思う。そしてもしその部屋を多かれ少なかれ快適だと感じられるなら、その部屋の中において世界と無関係でいるということも可能。こうした態度・感覚は時に必要なときがあるけれども、果たしていいことなのかどうかは、分かりません。

### 岡田利規



『渚・臉・カーテン』チェルフィッチュの〈映像演劇〉、2018年 熊本市現代美術館、Photo by Masaki Miyai

# 風景、世界、アクシデント、すべてこの部屋の外側の出来事

Chelfitsch's Eizo-Theater  
The Landscape, the World, and Accidents:  
Everything That Happens Outside of This Room

作・演出／岡田利規  
映像／山田晋平  
出演／足立智充、椎橋綾那

テクニカルディレクション／岩田拓朗 (SCARTS)  
衣裳／藤谷香子 (FAIFAI)  
宣伝美術／佐藤史恵 (SA+O)  
プロデューサー／黄木多美子 (precog)  
プロダクションマネジメント／小森あや (TASKO inc.)  
制作／小山冴子 (SCARTS)、丸田鞠衣絵 (hitaru)

企画制作／株式会社precog  
製作／札幌文化芸術交流センター SCARTS・札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)、一般社団法人チェルフィッチュ

わたしたちには——わたしたち皆にである、とは必ずしも言えないけれども——この世界を把握したいという好奇心があり、この世界を正しく知っていないければならないという責任感さえ、場合によってはあります。一方で、わたしたちには身体の大さきとか、視野、知覚能力、思考の能力、時間といった条件があらかじめ与えられていきます。それによる限界のもとで、わたしたちは世界を理解しようとしていて、ですからその理解は誤解である可能性も大いにありますけれども、それは仕方ないことです。

TOSHIKI Okada

### 岡田利規



(C) Kikuko Usuyama

1973年神奈川県生まれ。演劇作家、小説家、チェルフィッチュ主宰。2005年「三月の5日間」で第49回岸田國士戯曲賞を受賞。2007年「ビー」を新潮社より発表し、翌年第2回大江健三郎賞受賞。2012年より岸田國士戯曲賞の審査員を務める。2016年よりドイツ有数の公立劇場として知られるミッセン・カンマーシヤピレにて日本人演出家として初めて4シーズンに渡るレパートリー作品の演出を務めている。

会場／ クリエイティブスタジオ [札幌市民交流プラザ 3F]  
〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目  
交通案内／ 札幌市営地下鉄「大通」駅 30番出口から西2丁目地下歩道より直結  
お問い合わせ先／ 札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)  
札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ 2F  
TEL:011-271-1955 (9:00～17:00) E-mail: scarts@sapporo-caf.org



hitaru オフィシャルスポンサー／ ニトリ、アイングループ、イオン北海道、CO・OP共済、札幌田中病院、TAIYO GROUP、きのとや、札幌丸井三越、トランスコスモス、北央病院、北海道コカ・コーラボトリング、北海道新聞社、北海道プ、ホテルモントレグループ、練成会グループ  
あいプラン、MORIHICO、伊藤組土建、岩倉建設、岩田地崎建設、大通り矯正歯科、ボルボ・カー 札幌、札幌駅前通まちづくり会社、札幌大谷学園、札幌大通まちづくり会社、札幌市交通局、札幌振興公社、札幌都市開発公社、サッポロホールディングス、ANA クラウンプラザホテル札幌、札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル、ジェイ・アール北海道バス、数島屋、じょうてつ、ANA、大和証券、さっぽろ東急百貨店、日本航空、富士メガネ、北海道エクスプレス、北海道科学大学、北海道中央バス、北海道電気保安協会、丸彦渡建設、三井不動産リアルティ札幌、よつ葉乳業、北海道ガス、會澤高圧コンクリート、旭イノベックス、遠藤興産、SAPICA、三精テクノロジーズ、大成建設、大丸札幌店、どんぐり、日建設計、北海道グリーンメンテナンクス、豊建商、氏家記念こどもクリニック、岡本内科クリニック、クランアップ、ホクリョウ、北洋銀行、北海道銀行、朝日新聞社、阿部小児科医院、アムテック、アルシス、石狩すずらん内科、岩本・佐藤法律事務所、ウエス、AIRDO、おおしま内科胃腸科クリニック、柿崎歯科、河上水産、TAT 札幌、グリーンネットワークス、ケープラス・ロジ、札幌商工会議所、ジャパンテクニカルソフトウェア、サツイベ、しんどう医院、すずらん乗馬クラブ、蘇春堂形成外科、タイムズ24、みよしの、なんごう耳鼻咽喉科、ニューオータニ札幌、ネクステップ、福住泌尿器科クリニック、北海道熱供給公社、北海道マツダ、ほりー総合法律事務所、マウントアライヴ、明治安田生命、山二、ゆらら、リビングワーク、六書堂、和らふ、北海道放送、札幌テレビ放送、北海道テレビ放送、北海道文化放送、テレビ北海道